



くみあいたより

JAなんぼろ



JAなんぼろホームページアドレス <http://www.ja-nanporo.or.jp>



南幌町農業協同組合

稲刈りスタート

9月中旬より町内各所で稲刈り作業が開始されました。

今年度は、生育期間の天候に恵まれたこともあり、刈り取りまでの期間は順調に生育していましたが、収穫開始時期には雨が続いたこともあり、思うように作業を進められなく頭を抱えていた組合員もいたと思います。晴れ間を見つけないながらの作業になりましたが、10月上旬には無事収穫を終え安心した様子が伺えました。

同時期よりライスターミナルでの米の受け入



れも開始されました。受け入れ当初は、雨が続いたこともあり搬入されていた方は少なかったのですが、その数日後には例年並みの搬入数になりトラックが長蛇の列を作っていました。

収穫が終わり一息つきたいところでしたが、秋播き小麦の播種や大豆の収穫等の作業に取り掛かり忙しい日々を過ごした組合員も少なくないと思います。来年度産の農作物の豊作を願って残りの日々を過ごしたいです。

健康第一！

9月24日（木）、25日（金）に当JA3階大会議室で職員に向けた健康管理研修会が行われました。

南幌町保健福祉総合センターあいくるの高羅祐美保健師と古谷聡美管理栄養士の2名を講師に招き、「心の健康づくりと健診結果の見方」と題して講演をしていただきました。

講演では、ストレスのセルフチェック・ストレスがかかった心の状態・健康診断の結果を見ながら今の自分自身は、どのような健康状態であるのかを知ることができ充実した講演内容でした。

また、食生活改善に向けた小冊子も一人一冊頂きました。

当JAでは、仕事はもちろん健康面の管理もしっかりと行っていきます。



稲刈りから学ぶ農業

9月25日(金)織田さん(鶴城)の学習田圃場で、南幌小学校5年生が稲刈り体験学習を行いました。

例年6月に田植え体験学習、9月には稲刈り体験学習が行われていましたが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、田植え体験学習が中止になってしまいました。

稲刈り体験学習の前段では、当JA平井係より南幌町の米の生産について、また空知農業改良普及センター空知南西部支所の山越さんより

稲刈り作業の注意点について説明があり、参加した小学生達はしっかりと学んでいました。

稲刈りは2人1組となり「刈り取り」と「刈り取った稲を束ねる」作業を行いました。

手際よく行う児童や苦戦している児童など様々でしたが、終盤には皆連携のとれた作業が行われていました。

刈り取られた稲は、はさがけ・脱穀・精米を行ったのちに小学校に贈呈されます。



収穫ラストスパート

10月中旬、町内では野菜の収穫が終盤に差し掛かり、キャベツ・ブロッコリー・ピーマン・長ネギ・玉ねぎなど多種多様な野菜が、野菜等集出荷センターに集まっていました。

収穫は、11月中旬には終わる見込みのようです。

今年は、播種・移植時期に雨が降らなく、一方で収穫時期に雨が降り苦労した組合員も少なくないと思います。今年の作業も終盤となりますが、農作業事故には十分気を付けてください。



長船技師による営農情報！

★GAP(「ギャップ」)でより良い農業経営を



来年開催する東京オリンピック・パラリンピックでは選手村などで提供される料理にGAP農産物が使用されます。農産物においてGAP認証を取得している経営体数は年々増加し平成30(2018)年度末時点で、前年に比べ688経営体増加の5341経営体となっています。今回はGAPについて紹介します。

1 GAP(ギャップ)とは

Good Agricultural Practiceの頭文字で、直訳すると「良い農業のやりかた」、一般には「適正農業規範」あるいは「農業生産工程管理」と訳されています。

GAPは食品である農産物を生産する現場において、農業者自らが、生産工程全体を身渡して①注意すべき項目を定め、②これに沿って農作業を実施・記録し、③記録を検証し次の生産に向けての作業改善に結びつけていく手法です。

2 GAPの目的

食品の安全性を揺るがす事件や事故が発生している中で、農産物の安全性を確保するために各農場に合わせた基準(マニュアル)を作成し、それを実践します。GAP導入により、安全な農産物の供給と、農業経営の改善及び有利販売に向けて行くことが大きな目的になります。

3 GAPに取り組みましょう

まずは農業生産のレベルアップ

ステップ1: 基本の整理整頓から

みなさんがこれまでも取り組んできた整理整頓や、生産履歴の記帳が基本です。



ステップ2: 農場内を点検し、問題点を改善

農業生産の中で問題点を見つけたら、①必要な対策を考え、②それを実行し、③その内容を記録・点検し、④継続的に改善していく。

食品安全

<日頃の取り組み>
異物混入の防止
農薬の適正使用と保管

環境保全

<日頃の取り組み>
適正な施肥、土壌侵食の防止
廃棄物の適正処理・利用

労働安全

<日頃の取り組み>
機械・設備の点検・整備

<農場経営管理>

責任者の配置、教育訓練の実施
内部点検の実施

詳細については 次のアドレスにアクセスして下さい。

農林水産省hp 「これから始めるGAP」<http://gap.maf.go.jp/>

日本GAP協会hp <httpS://jgap.jp>

営業時間の変更について

営業時間が下記のとおり変更となりますので、ご案内いたします。

期間: 11月1日~3月31日

	平日	土曜・日曜
	営業時間	営業時間
本部事務所	9:00~17:00	休業
グリーンセンター	9:00~17:00	休業
野菜関連施設	9:00~17:00	9:00~17:00 <small>11月は野菜受け入れのため土日営業 12月より野菜受け入れのため日曜日営業</small>
推進本部	8:30~17:00	休業
JAバンク(窓口)	9:00~15:00	休業
A T M	9:00~18:00	9:00~17:00 <small>※土曜日のみ営業</small>
本部給油所	7:30~19:00	7:30~19:00
エコーブなんぼろ店	9:30~20:00	9:30~20:00

理事会報告

10月19日

10月定例理事会で審議された主な内容について、次のおり報告申し上げます。

〔監査報告〕

1、第2四半期末 自治監査

〔議案〕

1、規程の改正について

2、令和2年度8月期ディスクロージャー(半期開示)の作成について

3、出資金の減口について

〔報告事項〕

1、第6回 営農振興組合長会議の開催について

2、農産物の生育状況について

3、令和2年度 営農賦課金の確認および徴収について

4、令和元年肥 肥料利用割戻し奨励金の精算について

5、令和2年度 南幌町穀類乾燥調製貯蔵施設の小麦本精算について

6、令和2年度 南幌町穀類乾燥調製貯蔵施設の水稻操業状況について

7、9月末 農産物の保管状況について

8、9月末 蔬菜販売状況について

9、9月期 J A ローン の貸付について

10、財務諸表等監査(期中一)の結果について

11、不祥事未然防止の徹底に係る J A 自主点検の結果について

12、内部監査の実施報告について

13、金利設定会議の開催報告について

14、9月末 財務状況について

発行 JAなんぼろ 〒069-0293 空知郡南幌町栄町1丁目4番7号

TEL 011-378-2221(代表)、011-378-2274(直通) FAX 011-378-0846 発行日 令和2年11月1日

ホームページ <http://www.ja-nanporo.or.jp> メールアドレス koho@ja-nanporo.or.jp

～表紙の紹介～

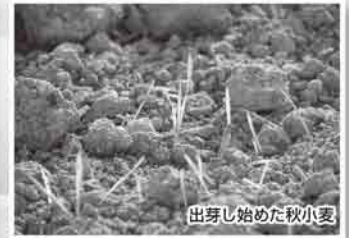
◎今月号は、稲刈り作業中の河合勇気さん(青葉)に表紙を飾っていただきました。



南幌町 フォトコーナー



地力のひまわり畑



出芽し始めた秋小麦



来年は何か作付けされるのでしょうか



大豆の収穫(奈良岡凌平さん(川向))

編集後記

秋の訪れを感じたと思えばあっという間に冬がやって来ますね。今年の初雪は、いつになるのでしょうか。去年は、11月7日に降ったみたいですが。思わぬ路面凍結があるかもしれませんので朝・夜の運転には気を付けましょう。

くみあいだより担当の吉田は、釣りに行き魚を釣りました。



私達のJA

令和2年9月末日現在

組合員	2,754名
(前年同期比)	▲16名
正組合員	456名
(前年同期比)	▲2名
准組合員	2,298名
(前年同期比)	▲18名
正組合員戸数	286戸
(前年同期比)	▲5戸